

3 高尿酸血症と痛風にはどんな治療をする？

高尿酸血症と痛風には どんな治療をするのでしょうか。

高尿酸血症だからといって、すぐに薬による治療が必要になるわけではありません。尿酸値が7.0mg/dLを超えている方は、まずは生活習慣を見直しましょう。

ただし、次のような方は薬を飲むことがすすめられますので、主治医に相談しましょう。

Check!

まずは、尿酸値と合併症の検査が必要ですね。



- 痛風発作を起こしたことがある、または痛風結節がある方
- 尿酸値が8.0mg/dL以上で合併症^{*1}のある方
- 尿酸値が9.0mg/dL以上の方

*1 ここでいう合併症とは、腎障害、尿路結石、高血圧、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、糖尿病、メタボリックシンドロームなどです。

治療の基本

高尿酸血症と痛風治療の根本治療は尿酸値6.0mg/dL以下を目指した尿酸値の継続的なコントロール^{*2}。起きてしまった痛風発作の治療とは分けて考えます。



*2 尿酸値6.0mg/dL以下を保つと、体に沈着している尿酸の結晶が溶けだし、痛風発作や合併症のリスクが減るといわれています。

高尿酸血症と痛風治療の進め方

